



3/3 アルペン競技で県勢初の快勝 葛巻純志郎さんが全中スキー大会で優勝

第63回全国中学校スキー大会アルペン競技男子スラローム(2月5日、長野県野沢温泉村)で県勢初の優勝を果たした葛巻純志郎さん(上野中3年)と関係者は、八重樫市長と船田教育長に優勝を報告しました。葛巻さんは「難易度の高いコースだったので、丁寧に滑ることを心がけた。優勝できたのはコーチや家族のおかげ」と述べ、「将来は世界の舞台上で活躍したい」と今後の意気込みも語りました。



3/7 農家のリアルが語られる 農業トークショー「農家になる方法」

農業トークショー「農家になる方法」(ローカルデザイン実験室そろそろ主催)は、SAKURA COMMONSで開催されました。農業に携わる5人が登壇。就農までの経緯や経営などが語られ、農家の実態を知る機会となりました。佐藤綾さん(一関市)は「農家として経営が成り立っている人がいることは頼もしく、農業は明るいなと感じた」と目を輝かせていました。

3/1 林野火災を想定し訓練 令和8年春季災害防衛訓練

令和8年春季災害防衛訓練は、伊勢神社周辺で実施されました。訓練には北上市消防団と北上地区消防組合が参加。林野火災を想定し、進行やシナリオが事前に示されていないブラインド訓練が行われました。小原和弘北上消防署長は「ブラインド訓練の中での活動は大変だったと思うが、初動の動きが火災の進展を左右する。今後も確実な初動対応を心がけてほしい」と講評しました。



3/7 春を告げるザゼンソウ ざぜん草の里 りびらき宣言

藤根自治振興会は、北上ざぜん草の里で、今年のりびらきを宣言しました。ザゼンソウは、雪を溶かしながら咲く発熱する植物としても有名で、春の訪れを告げる植物として親しまれています。藤根自治振興会の小松久孝会長は「ちょうど頃を迎えている。市内外問わず、多くの人に足を運んでほしい」とあいさつしました。



2/22-3/8 色鮮やかに桃の節句を彩る 煤孫吊るしびな祭り

煤孫吊るしびな祭り(煤孫1区自治会主催)は、煤孫1区自治公民館で開催されました。来館者は、館内に飾られた吊るしびなやひな人形を写真に取るなどして楽しんでいました。伊藤幸子さん(奥州市)は「昨年初めて来たがきれいだったので、今年も子どもに見せたいと思って来た。昨年よりバージョンアップしていきい」と笑顔を見せました。



2/28 防火を祈願し、家々で奉納 小鳥崎火防祭

小鳥崎火防祭(小鳥崎祭典委員会主催)は、小鳥崎地区で開催されました。当日は未就学児や小学生13人を含む約50人が参加し、約40戸を回って下舞と小鳥崎神楽の権現舞を奉納。伝統行事を通じて住民同士の交流が深まりました。下舞を披露した佐藤朱さん(黒沢尻東小5年)は「回った家の人が喜んでくれるから、やりがいを感じる」と充実感をにじませていました。

2/19 分かりやすく伝えることを体験 やさしい日本語で伝えよう

黒沢尻東地区多文化共生事業ワークショップやさしい日本語で伝えよう(黒沢尻東地区自治協議会主催)は、黒沢尻東地区交流センターで行われました。緊急時などに外国人に正確な情報を伝える重要性を学ぶために開催。参加者は、同地区の外国人に災害時の避難内容などをやさしい日本語に変換し、伝えました。織笠力さん(川岸・68歳)は「やさしい日本語で伝えるのがいかに難しいかを痛感した」と振り返りました。



2/27 マッチングからつながりが生まれる 北上市まちづくりマッチングフェア

北上市まちづくりマッチングフェアは、生涯学習センターで開催されました。市民活動団体や企業、学生など22団体が参加し、約120人が来場。発表やポスターセッションを通して、交流を深めました。規格外リングをジュースに加工し、ブランド化する阿部樹さん(専修大学北上高2年)は「さまざまな立場の皆さんと直接話せて交流が深まった。さらにやる気が高まった」と手応えを感じていました。

